



～集めて送って国際協力～ 書損じハガキで 飢餓に苦しむ人々を支援できます！



特定非営利活動法人 ハンガー・フリー・ワールド

期間:2023年1月～5月末まで

『第22回 書損じハガキ回収キャンペーン』

飢餓のない世界を創るために、ちょっと協力してみませんか？

※今週お届けしている1月4回のカタログと一緒に、
白い「封筒作成キット紙」がセットされています。

封筒を作成いただき、その中に書損じの年賀ハガキや切手などを
入れてポストに投函（切妻）してください。

（※封筒はしっかりとのり付けして頂き、複数のCDを入れるなど量が多くなった場合にはテープで補強ください。配送ルートや店舗でのお預かりはできません。ご了承ください。）

他にも、送ることでご支援いただける物がたくさんあります。

詳しくは専用封筒をご覧ください。

専用封筒を追加でご希望の方は、右記の二次元コードから
封筒請求、またはコールセンターまでご連絡ください。

コールセンター／0120-759-853

※宅配をご利用の方には、いつもの商品配送ルートでお届けします。

※宅配をご利用でない方には、郵送いたします。

※店舗にも専用封筒（封筒作成キット紙）を置いています。

封筒追加請求用



～ハンガー・フリー・ワールド（HFW）とは～

ハンガー・フリー・ワールドは、飢餓のない世界を創るために活動する国際協力NGOです。

「食料への権利」の実現のために協同組合などの住民組織を支援し、住民たちが自分の力で食べ物を得られるしくみや地域づくりに取り組んでいます。



～これまでの活動で実現された事例～

ベナンのアラド・オノリーンさんは、子どもが栄養改善事業の対象者でした。彼女からのメッセージを紹介します。

「息子のデービッドがこの事業の対象になる、と言われたとき、深刻な状態でした。これまで、しおちゅう病気にかかっていて、いつも死んだらどうしようと心配ばかりしていました。病院に連れていくと、今度は治療費をどう払うかということにも頭を悩ませなければいけませんでした。当時の私は、食べ物が健康に影響していることを知らなかったのです。

でも、ハンガー・フリー・ワールドの事業に参加して、栄養のある食事が子どもの成長にどんなに大切なことよく理解できました。朝は教わった栄養のあるおかゆを与え、昼と夜の食事は野菜や果物などを料理にたっぷり使い、カルシウムやたんぱく質もバランスよく含まれるように気をつけて作りました。

1年がたって、栄養状態はすいぶん改善されました。息子は健康を取り戻し、順調に発達しています。治療費で家計が圧迫されることもなくなりましたので、夫も追われるよう仕事をしなくてもすみ、時間と気持ちに余裕が生まれて積極的に育児に参加してくれるようになりました。私はハンガー・フリー・ワールドの、弱い立場の人々に対する栄養改善の取り組みにとても感謝しています」



デービッドくんは標準体重に満たず病気がちでしたが、1年後には食欲も旺盛で元気に成長しました

※画像提供：特定非営利活動法人 ハンガー・フリー・ワールド